

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成20年12月18日(2008.12.18)

【公開番号】特開2007-129282(P2007-129282A)

【公開日】平成19年5月24日(2007.5.24)

【年通号数】公開・登録公報2007-019

【出願番号】特願2005-317858(P2005-317858)

【国際特許分類】

H 04 N 1/387 (2006.01)

H 04 N 1/00 (2006.01)

B 41 J 3/407 (2006.01)

B 41 J 21/16 (2006.01)

【F I】

H 04 N 1/387

H 04 N 1/00 C

B 41 J 3/00 F

B 41 J 21/16

【手続補正書】

【提出日】平成20年10月29日(2008.10.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

印刷画像の画像出力の対象である特定の形状を有する記録媒体上における前記印刷画像の複数の異なる印刷態様を示すとともに、この複数の印刷態様のうち特定の印刷態様をユーザがマーク指定可能なレイアウトマークシートを記録手段で印刷出力させるレイアウトマークシート印刷過程と、

読み取り手段により前記レイアウトマークシートを読み取り、レイアウトマークシートでユーザがマーク指定した特定の印刷態様を検出し、検出した印刷態様で前記記録手段により画像を前記特定の記録媒体に印刷出力させる印刷出力過程を含むことを特徴とする画像処理方法。

【請求項2】

前記特定の記録媒体上における画像の位置、変倍率、回転状態、または反転状態を変更することにより、前記レイアウトマークシート上に前記複数の異なる印刷態様が形成されることを特徴とする請求項1に記載の画像処理方法。

【請求項3】

複数の画像から印刷画像をユーザがマーク指定可能な第1のマークシートを印刷出力し、該マークシートを読み取った結果、第1のマークシートのマーク指定により前記レイアウトマークシートの印刷が指定されている場合に第2のマークシートとして前記レイアウトマークシートを印刷出力することを特徴とする請求項1に記載の画像処理方法。

【請求項4】

前記特定の記録媒体が同心円状の印刷可能範囲を有する記憶媒体ディスクであることを特徴とする請求項1に記載の画像処理方法。

【請求項5】

前記レイアウトマークシート印刷過程は、マークシートの種別を判定するコードを前記

レイアウトマークシートに印刷し、前記印刷出力過程は、前記コードにより読み取り手段により読み取られたマークシートが前記レイアウトマークシートであるか前記第1のマークシートであるかを判定し、前記コードにより読み取り手段により読み取られたマークシートが前記レイアウトマークシートであれば、レイアウトマークシートでユーザがマーク指定した特定の印刷態様を検出することを特徴とする請求項3に記載の画像処理方法。

【請求項6】

前記記録手段および前記読み取り手段を有し、前記記録手段および前記読み取り手段を用いて請求項1～5のいずれか1項に記載の画像処理方法を実施することを特徴とする画像処理装置。